



荒川区西日暮里2-55-1  
国鉄労組東京地方本部  
発行責任者 鎌田博一  
編集責任者 常盤達雄

No.1752

2012年

11月5日

募集中

新入社員加入  
呼びかけポスター  
春闘標語コンクール  
1月末まで

歓迎会  
続々と大宮

大宮地区本部では、八月に相次いで国労加入した大宮総合車両セの佐久間さんと武蔵浦和駅の小松澤さんの歓迎会を行った。佐久間等さんの歓迎会は一〇月五日に行われ、主催者あいさつに阿部分会会長が立ち、続いて大宮工場支部委員長からの「佐久間さんの決意に感謝します。JR各社では、検修職場の徹底した合理化に動き出しています。安心して働ける労働条件と安全な車両を提供するために、共に奮闘していきましょう。支部も更に新たな仲間を迎え入れるために奮闘する決意です」といったメッセージが読み上げられた。



大宮地区本部歓迎会

若干の歓談を挟み、佐久間さんから「職場の飲み会の際に小野さんと話した時」「一次試験に受かった、俺が二次も受かったら佐久間さん国労に来いよ」と言われた。小野さんから主任受かったよ、と言われた時は良かったね、と思ったが、国労に、と言われていたのを思い出した。他労組の人か

は、今年に於いては現場(設備班)が六名のところ、二名が一月に退職し、四名しか残りません。法令点検のあるTK内のクレーム・プレ

分会紹介  
36  
設備課  
分会

こんにちは、東京総合車両センター(以下TK)設備科分会です。私たちの構成は、設備班四名・技術管理G一名・エルダ一名の六名の小さな分会です。主な業務は設備班が生産機械の保全、技術管理Gは契約と役務という仕事内容です。例にもれ



設備課分会メンバー

第63回大会  
書記長約  
集



書記長

東京地方本部は「組織の強化拡大」を最重要課題として、取り組んでいくことを本日確認した。三〇年余の闘いのなかで「いつでも差別を受けているような感覚に陥ってしまふ」などと言われる。しかし労務政策は大きく変化。発言で「まだ現場に今年の新社員で未加入者が」という報告。変化を見る力をつけ、正しい情勢分析と認識を共通のものに。「これまで国労組合員は近づきたい存在。これではいけないということ、一歩前に入る取り組みができた」という報告。変わることは変わって一歩前に入る意思統一を。加入させた後の責任問題を議論。この壁は、我々の問題で、会社や他労組が設定している壁ではない。八王子地区本部の宮下代議員の発言を聞いて、「若い人を入れて可哀想だ」という立場に立つのか、この宮下代議員と共に「みんな頑張っている、この宮下代議員」という立場に立つのか。この闘いに学んで一歩前

に出ようという意思統一を。二つめは「労働条件改善・安全安定輸送を求めている。我々は安全と、本場の意味でのサービス求めている。安心して働ける労働条件は譲れない。グループ会社ス機械など、この人数でこなせるかという、はなはだ心もとないところ。科長はなんら手を下そうとせず、一方会社は技術継承が大事だと言っています。また、新人の入ってこない設備科の現場の技術は、まわりの削減してしまっています。な

と一体となった業務体制のさらなる推進」は、標準数で三三八名の減。出向者九五名。東北縦貫開業まで続く施策で、引き続き取り組みが重要。駅関係も委託が拡大。「JRの顔」をどのように今後描いていくのか見えない。様々な職種に多くの組合員が出向している。「六〇を過ぎてこの労働条件では働き続けられない」という意見。連絡会の設置を本日提起。出向先会社プロパー社員の組織化も整備を進める。GSが駅では欠かすことのできない存在。現行制度では雇止めという問題に直面。要求の基本は「正社員化」だが、制度改善を含め取り組みを強める。三つめとしては「労政の転換から、公正・公平な取扱いを求める闘い」。差別的な取扱いについてはかなり改善されてきている部分もあるが、一方で配転・配属問題についてはまだ、問題を残してきている。関係者に対して申入れを行ないながら、全力を挙げていきたい。四つめとして「平和と民主主義を守る闘い」。政治が国民感覚からずれている。消費税が代表。原発問題においても、全原発停止は良かったが、すぐ再稼働。原発ゼロ政策も閣議決定が行なわれず。武器輸出三原則の緩和まで。国民目線に立った政治を求めていかねば。一方、自民党は安倍新総裁を選出。維新の会などが話題になっているが、この二つの政党、お二方とも危険な思想を持っているのは間違いない。地球温暖化問題とあわせて、原発の態度を鮮明にしながら、様々な取り組みに参加していく。衆議院の解散・総選挙が想定。来年夏には参議院選挙と都議会議員選挙が予定されている。地方本部としては方針書にもあり、国労が掲げてきた、政治方針の前進を期する政党との連携を含めて、運動を展開していくので、協力をお願いしたい。載している機械故障まで、ありとあらゆる修繕や点検の依頼が舞い込みます。先行が大変だというのが、組合員の一致した思いです。それでもなんとか明るく毎日仕事をしています。TKにも若年出向を伴う外注化の攻撃がかかっています。なんとでも組織を拡大して、合理化の波を止めていきたいものです。

「がん」の保障 《生きるためのがん保険Days(デイズ)》  
スタンダードプラン 入院給付金日額 10,000円の場合  
保険期間: 終身(抗がん剤治療特約は10年更新) 契約年齢: 0歳~80歳

初めて診断確定されたとき	診断給付金	がんの場合 一時金として 100万円 上皮内新生物の場合 一時金として 10万円
入院したとき	入院給付金	1日につき 10,000円
通院したとき	通院給付金	1日につき 10,000円
手術したとき	手術治療給付金	1回につき 20万円
放射線治療を受けたとき	放射線治療給付金	1回につき 20万円
抗がん剤治療を受けたとき (上皮内新生物は対象外)	抗がん剤治療給付金	抗がん剤治療を受けた月ごとに 1カ月 10万円 乳がん・前立腺がんのホルモン療法のと (すべての保険期間を通じ通算600万円まで) 1カ月 5万円

プレミアムサポート 訪問面談サービスと専門医紹介 (このサービスは、株式会社法研が提供するサービスです)

【引受保険会社】アフラック東京第三法人営業部 〒163-0456 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル 当社保険に関するお問い合わせ・各種お手続き  
コールセンター 0120-5555-95

【募集代理店】アベニール株式会社 〒105-0004 東京都港区新橋5-15-5 交通ビル3F  
電話 03-3437-6810 ファックス 03-3437-6822

「生きる」を創る。Aflac (2011年4月1日現在)

◆月払保険料 (団体取扱)  
生きるためのがん保険 DAYS(デイズ) スタンダードプラン  
入院給付金日額 10,000円 定額タイプ  
保険料払込期間: 終身 (抗がん剤治療特約は10年更新)

	35歳	45歳	55歳	65歳
男性	3,656円	5,608円	9,360円	15,190円
女性	3,734円	5,274円	6,864円	9,048円

〈抗がん剤治療特約〉の更新後の保険料は更新時の年齢・保険料率によって決まります。

【取りまとめ先】アベニール株式会社 東京営業所  
〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-55-1 国労東京地方本部内  
JR電話 054-2548 ファックス 03-3806-9275  
電話 03-3806-9264

©詳しくは、パンフレット(契約概要)をご覧ください。 AF007-2011-0186 4月25日

# 第63回大会発言録

## ◎経過報告についての質疑

相澤 嘉孝(上野・隅田川駅)

隅田川駅は受委託解消で機関車一六両を留置、入換回数変更。信号誘導に入換担当者が入ったり、助役が手伝うなど慣れない作業。要員不足。事故が気になる。昨年岐阜夕駅でコンテナ作業中に貨車を吊り上げ脱線。気付かず列車が発車。当初会社は荷役線から直接発車する列車は確認するという事で進んでいたが、責任問題、時間、要員が絡むなど、国労の指摘で、土浦、隅田川については要員が増となったものの、他は点検担当者に責任を転嫁する形。

## 本間 直樹(新橋・東京駅)

東京駅で四〇名以上の方が委託職場で働いている。エルダー、出向者、プロパー、パートなど混在。分会は年二回の交流会、学習会を開催し、労働条件の改善と交流に取り組み。環境アクセスの所長に申し入れ。真摯に聞いて頂いた。会社側から、今年は四〇名のプロパーの入社。委託会社は雇用の確保という認識。そこにプロパー社員を配置し委託会社に転換。本質的な人件費・経費削減、合理化として捉えるべき。

## 三浦 秀高(新橋・東京電車線技セ)

今まで無かったような架線の自動張力装置の重錘落下、インテグレート架線の断線など事故が多発。背景には利益追求の姿勢。作業員の高所からの墜落。職場討議で様々な意見。しかし本音は「単価が安すぎるから保守用車ではなく、はしごでやらざるを得ないのでは」「今後も起きる」。他の背景は、教育の不徹底や技術継承の遅れ、検証なしで導入された工事車両による事故。これらは教育訓練をしっかり行えば防げる。

## 宮下 直樹(八王子・豊田運輸区)

一昨年国労に加入。入社の際に他の労組から話があり、仕方なく入った。浦和の事件ばかり。GS正社員化の署名を書いたが、その後どうなったのか教えてもくれない。国労の方からお話を聞く機会があった。他労組にいた時はいろいろ強制的に参加させられ嫌だった。国労の話を聞いた時は会

議等もあるが、自分を優先して良いと言われ、国労に入ることを決意。現在、豊田運輸区の手で国労に入っているのは自分だけ。あきらめずに声をかけていくので、皆さんも私の仲間を増やしてください。

## ◎一般討論

### 鈴木 伸一(神奈川・新川崎駅)

鎌倉駅分会の拡大では「年配者ばかり」とも言われたが、「年配者が戻れない」ところに若い人が入るはずが無い。「加入用紙に記入してもらった瞬間が一番の感動」といった教訓が話され、大きくなった組合掲示板をフル活用すると張り切る。GS社員に説明会。アンケート調査を行い、様々な意見や不平不満が出された。雇止め時期において雇止めされた人の年休消化等による要員不足、休日出勤。地区本部はこのような事象や問題を宣伝し、労働組合の意義を訴えながら組織拡大に全力で取り組む。

### 宮下 富昭(大井工場・部品科)

四段階に分けて委託予定。支部は対策委員会を開催。門前でのチラシ配布や偽装問題の学習会など取り組み。東京総合車セでは約六〇名が若年出向。出向に伴う人選や偽装問題、今後の作業内容や異常時対応等、問題点が。この事案がまだまだ続く中で、緊急の団体交渉などを視野に入れた取り組みが必要だと考えている。併せて作業環境に向けた出向会社との交渉や、宣伝活動など、工夫された運動が必要である。

### 久保田 誠一(八王子・大月保技セ)

計画テーブルの仲間から追加予算が配布されたとの報告。七月に業務に慣れたきた若社員が三鷹に配転。熟練社員が退職。補充は工事経験の無い一名。円滑に進められる状態ではない。要員増を要求。なぜこのように予算が配布されるのか。退職者の未補充や効率化施策と同時に、人件費削減が大きく影響していると思う。生活実態アンケートの生要求は五万円を超える。要求に応える春闘の再構築を。またエルダー社員の賃上げをなんととしても。

### 相田 好一(大宮・浦和電車区)

大宮支社の業務委託提案は九六名の要員減。労働条件の低下を許さない、車両の維持管理と検査体制の確立、コンプライア

ンス保持などを求め交渉。支社が唯一認められたのは、団交に出向社員・エルダー社員でも、自分の時間となるが参加可能の見解。国労の交渉が終了していない中、浦和電車区では説明会。その後出向の打診。一四日には一八時以降に電話による事前通知。苦情申告の関係もあり問題。未だに変更点の

### 小海 智(中央・東京工事事務所)

中央支部は西部全労協に加盟。全労協は激動の国鉄闘争の中心として共に歩んできた。一致する要求課題での共同行動という原則に基づき、西部全労協と東京春闘西部ブロックが中心となり、学習会や決起集会、デモ、街頭宣伝などを行ってきた。国鉄闘争を通じて広がった共闘運動の輪に、反原発、日本航空の不当解雇という新たな課題を追加。受けた支援は支援で返すのが当然。「国労は採用差別事件が解決したらサッパリ参加しなくなった」などと言われることが無いよう、共闘運動の取組みの強化を。

### 田中 亨(神奈川・中山駅)

長津田駅での四月一八日の事故。当事者である操車担当助役は、入換は実質初めてで、基本動作とは程遠い。また本線隣接作業で一二二分の間合いでは、基本動作を行っていない間に合わない。大惨事も想定された事態。経験や基本動作の重要性は勿論の事、背景にある原因を明らかにすることが重要。今年度から平成採用社員が国鉄組を超えた。入換を見たことも無い社員も多くなり、営業の運転担当も継承者を育てることは重要な課題。

### 小原 稔(上野・日暮里駅)

日暮里駅の委託。会社は団体交渉で「雇用の場の確保。働きやすい環境の整備に取組む」。実際は半数が若年出向。助勤で勤務を回している。年休が取れず、ますますきつい。業務区分が不明確。「偽装請負になるので指示がでない」と言いながら実際は指示。問題を挙げればきりがな

い。JRは、自分が



必要があると委託会社との契約を平然と見直すが、委託会社が約束を守らないことについて国労が指摘すると「それは委託会社の責任でJRからは何も言えない」などというように使い分けている。

### 大野 広志(八王子・立川運輸区)

レクを通じて他労組組合員との交流。加入を訴えたと関係が壊れてしまうのではと考える仲間も。分会ではまずは一人ひとりとの対話を実践。青年に国労加入を訴えたところ「メリットが無い。多人数組合のほうが有利」の返答。組合に期待が持てない諦め感、我々の運動が伝わっていない。これらの経験をもとに職場からの運動を基礎に、組織拡大に繋がる運動を組合員一丸となつて進めたい。地本には加入に際し選択の自由と判断基準の公正な提供をJR会社に強く求めるよう要請する。

### 神之田 仁(新橋・川崎発電所)

危険と隣り合わせの職場。設備保守の日勤グループと、運転監視を行う運転当直。若手社員の技術力低下。国労の多数は運転当直で、若手との接点が少なく、技術継承ができない。若手は超勤が二〇時間を超えそうになると「時間を超えないように」とだけ言われる。超勤をつけず遅くまで仕事、休日出勤。二年ほどで異動。やっと設備を覚える程度。若手社員の技術力向上や超勤問題を取り上げたが、明確な回答がない。今後も現場長に申し入れを行っていく。

### 唐澤 恒夫(自動車・東京支店)

四月関越道でツアーバスが衝突、死者七名の大惨事。七月に東北道での事故。根本原因として規制緩和。参入増で運賃のダンピング、乗務員は賃金の減少や休憩時間も満足に取れない。国交省は二〇〇七年のスキープバス事故で動き出し、八四社に監査、八割以上法令違反。しかし改善はされない。二〇一〇年に検討委員会。今年七月に答申。夜間便は一人乗務では四〇〇kmまで、一〇時間超の場合は二人。事故の撲滅に向けた検証や社員に対する研修を、会社に対し申し入れを行なっていきたい。

### 北村 邦男(新橋・田町車両センター)

検修全面委託合理化提案に学習会を開催。自分達で合理化攻撃を跳ね返して闘っていくことで意思統一。既に委託された業

務で技術的な問題やプロパーの問題など様々な問題。偽装請負に該当すると思われる事象を管理者に通告し是正。今回の検修合理化に対する考え方は、安全安定輸送、労働条件低下、偽装請負、車両検修業務以外に就かせないことなど。今回交渉に入る前に職場で既に施策の説明会や事前発令通知。毅然とした対応をお願いしたい。

### 足利 達也(大宮・浦和車掌区)

労働条件はどんどん低下。分会では「食う・寝る・トイレ時間の確保」が合言葉。食事時間は朝三〇分、昼と夕は四五分。詰所までの往復でさらに短い。精神的・身体的理由で乗務できない車掌が内勤の手伝いや雑用。車掌プロジェクトという職場が田端にあり、優等列車の車内改札や駅での乗越し精算の業務。大宮支社は受け皿が無い。脳梗塞の後遺症のある組合員を転勤できないかと区長に要請したが、支社外は難しいという理由で実現していない。

### 二〇一二年度地方委員

- 【新橋支部】高瀬弘人(蒲田駅、千葉利吉(大崎運輸区)、秋山忠久(中野駅)、古谷明広(新宿駅)、神之田仁(川崎発電所)【上野支部】岡正則(尾久駅)、金子錦也(日暮里駅、関宗城(我孫子運輸区)【神奈川地区本部】水内正浩(上溝駅)、坂下淳美(矢向駅)、鈴木伸一(新川崎駅)、田中亨(中山駅)、佐藤敏通(鎌倉車セ)【八王子地区本部】三木勝彦(三鷹保技セ)、久保田誠一(大月保技セ)、武田英雄(八王子保技セ)【中央支部】小海智(東京工事事務所)【大井工場支部】宮下富昭(東京電車区)【自動車支部】唐澤恒夫(JRバス関東東京支店)【大宮地区本部】足利達也(浦和車掌区)、小針亨(那須新幹線電力メセ)、相田好一(浦和電車区)

10/4付 歓迎

# 国労加入

## 横浜電力技セ

### 今年度新入社員

